寫眞週報

情報局編輯 五月廿四日・第三二二號

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

撃滅の戦史を継がん

第三十九回海軍記念日を迎へて

Z旗三笠の檣頭に翻る

この決戦必勝の信號旗が掲げられたのは、丁度

今から三十九年前の五月二十七日午后一時五十五分だつた

當時、ただ〳〵極東制覇の野望に燃えるロシアの侵略に對して、帝國の『獨立自衛』を確保すべく、わが國は、遂に止む一戦、三國干渉以來臥薪嘗膽十年の敵愾心と撃滅の闘魂とをたぎらせて、その貪婪飽くなき野望を徹底的に粉碎撃破したのであつた。ロシアの敗因はその戦爭目的の不明徴なために、わが國が、これ以上の戦爭繼續力を不可能視された時期であつたにも拘らず、遂に國内分裂の結果、敗退せざるを得なかつた。正に、勝敗は紙一重であり、最後の五分間を頑張り、戦ひ續けるものに對してのみ、勝利の榮冠は輝く。そして戦爭は結局、國民の火の如き必勝の信念と、如何なる困苦缺乏にも耐へる強靭なる意志とに加へて、眞に、渾然一體化した國内態勢とによつてのみ、勝利を獲得することができることを不滅の歴史的事實として教へてゐるのである。われ〳〵はこの點を先づハッキリと知らねばならない

『ロシア海軍の名譽を擁護せよ』と皇帝ニコライ二世の信倚と全國民の輿望とを擔つて、リポウ軍港を出航した東征バルチック艦隊は、壓倒的に一万五千浬の長途を、勝敗をたゞこの一戦に賭け、鎖港一鬨の勢ひを以てアフリカの南端、喜望峰を大迂回して來攻したのであるが、東郷大將麾下のわが聯合艦隊はこれを朝鮮海峡に邀撃して、一舉にこれを撃滅し、遂に、嘗古の大勝を博して日露戦爭の大局を決定したのであつた。日本海海戦は、二十七日黄から始つて二十九日朝まで續いてゐるが、勝敗の數は、旗艦三笠が砲撃を開始してから僅々三十五分間で決定してゐる

だが、今度の戦爭は、ハワイ、マレー沖海戦以來今日まで、二十回に近い海戦が行はれたが、未だに大局を決定するに至らない。それは何故か！

それは全く航空機の出現であり その長足の進歩に外ならぬ

緒戦で惨敗を喫したアメリカは、帝國海軍によつて、はじめて示された航空戦力の偉大さに目を醒すや、軍需工業の全面的轉換を斷行して航空戦力の飛躍的な增强を圖り、現在太平洋全域に亘つてその大航空兵力を展開して、戦局の大勢を制せんと企圖してゐるのである

太平洋戦局は、去る二月上旬敵の皇土内南洋への侵寇

によつて、米英の東亞再侵略の開始といふ劃期的段階へと突入するに至つた。一昨年八月以來、敵の反攻は、今日まで、すでに一年十ケ月の長きに及んでゐるが、敵の戦爭戦力は些かも衰へを見せず、今や太平洋の全周からわが心臓部めがけて、決定的打撃を加へんとしてゐる。戦局の現狀が、如何に、情勢奇烈であるかは、太平洋全戦線への敵機の來襲が二月の二万一千四十四機、三月の一万八千三百二十九機、四月の二万四千九十七機なる事實が端的にこれを實證してゐるが、それにもましてその深刻さを象徴するものは、この一年間に、聯合艦隊司令長官である山本、古賀兩元帥が、壯烈なる機上戦死をなされた厳粛なる事實でなければならぬ

現在の太平洋戦局は、これを大局的にみれば、わが本土爆撃、わが生命線ともいふべき南方資源地帶の奪回及び本土と南方地域との海上補給路遮斷の三點を繞つて、日米の一大攻防戦が展開してゐるのであるが、さらにこれを仔細に檢討すれば

一、大海上機動戦の展開
二、重爆撃の强化——鐵量の戦ひ
三、空母勢力の重視——對日攻撃の一番槍は空母の甲板から
四、敵の迂回戦法——わが要點突破——基地設營力戦
五、科學戦的相貌——日米科學技術決戦

などによつて特徴づけられるであらう

マーシャル侵寇までには約二ケ月、パラオ來襲までには一ケ月餘、更に、トラック再來襲までには一ケ月、敵はその間、間隙なき連續爆撃を實施した後、新作戦を展開してゐる

從來の戦闘經過からみて、敵現在の間隙なき砲爆撃は、機動部隊による次期作戦の準備行動と解じてよからう

今日の如き國と國との體當り戦である總力戦では既に

前線、銃後の區別はなく、一億全員が同じ重要さと資格とを持つ戦闘員であつて、誰一人として手をゆるめることを許さぬ。そして現代戦が大消耗戦であり、大補給戦、大生産戦、大科學戦であることを性格とする以上、われ〳〵は、これらの戦ひを同時に且つ全面的に勝ち抜かねばならぬ。これらを勝ち抜くとき、必勝の大道は、燦然とわれ〳〵の前に開かれるのであり、しかも必勝の戦機は、瞬瞬にして推移するものであることを、この際、特に銘記すべきである

三十九年前の日本海海戦が、皇國の興廢を決する一大決戦であつた如く、戦爭の現狀はそれ以上重大な難局に直面してゐる

我々は今こそ、大日本の檣頭高く翩翻として靡いてゐるZ旗の下、一億、相互信頼と協力とによる鐵石の團結を固成して總力を結集し曾つて三千年來不敗の國體を悠久に護持せねばならぬ

大本營海軍報道部

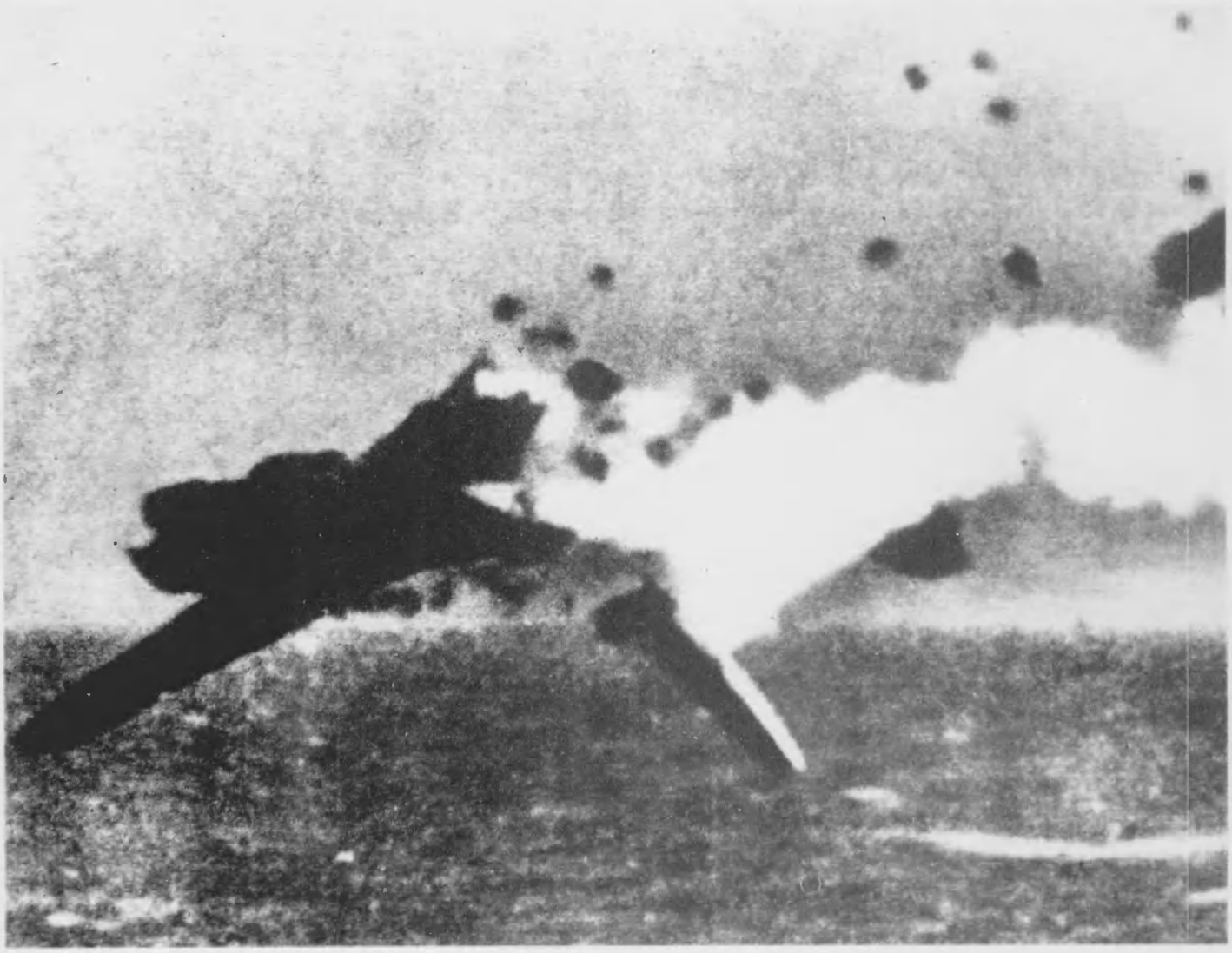
⇦指揮官先頭に全速で敵に喰り込む水雷戦隊

豊田聯合艦隊司令長官

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

必殺、海鷲魂をこゝに見る

昨年十二月五日、マーシャル諸島沖航空戦に敵機動部隊を捕捉攻撃し、中型空母、大型巡洋艦各一隻を轟沈、大型空母、巡洋艦各一隻撃沈、撃破ねぎらい賞といよ輝く戦果の蔭には、撃い未帰還機六機の犠牲があつたが、このほどスキスの雑誌（レッド・ワイファー・イルストリ）（イールデ・ファイ・フンング誌）によつて、被弾に傷つき炎上しつゝ、墜落寸前なほ魚雷を発射して自爆し、あらゆる海鷲の壮烈な最後が伝へられた。正に死して止まざる攻撃精神、これこそ無敵海鷲の真髄（しんずい）で



上　火の玉と化しつゝ敵艦めがけて突込むわが海鷲

下　敵機撃墜直前の現場図

海軍報道班員　中村　研一

海軍航空隊は志願者殺到

⇧ 敵は百機か二百機か敵は無数に出撃は荒荒つ寒へ進そるけつっや機全になす決を眼前撃出は荒荒つ寒へ進そるけつっや機全になか機百二か機百は敵
（陸軍省報道部撮影）

⇩ 物を待ち構む敵に目に敵機い近は日るせ見物くめらひに機関の銀は字眉の雲雲

陸軍航空隊

寫眞週報

真珠湾攻撃隊出撃日　陸軍航空隊　撮影

⇧ 海の彼方へ　砂塵をまきあげ　せらぎたる機関の音　出撃する　敵機動部隊撃滅　新鋭攻撃機　陸軍航空隊

⇩ 昨秋　われらが熱誠を以て送つた學徒たちの作られてゆく　やがて　陸軍航空隊　だのすら敵艦を敵頭に横縱で　陸軍航空隊　目は日の丸卒業　の生徒　の今年の月は　學徒たつ送て以を　熱がられわ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

大いに諸を植ゑませう

良い苗を選ぶことが増産の第一歩であることは、本誌の第三一一號（三月一日）でお知らせした通りだが、くりかへすと、一尺位の苗なら十節以上の節があつて莖は太く、葉の柄も太く短く、葉もよくひらいた丁度太い針金のやうなものがよい。苗の目方は關東附近で二—三匁以上、西日本で五匁以上あるものがよい。また苗の植付前に畦をよく耕すことはいふまでもないが、蒟芋や繩蓆の腐つたものなどの堆肥を施すと效果があるからなるたけ多く用ひる。そして堆肥と土とを十分にまぜれば土の水持ちがよくなつて畠が乾燥しないから苗の植付によい

さて苗には三種ある。切苗は種藷から芽が出てゐる苗のところを根元から一、二寸で切つたものである。種苗は切らずに、種藷から苗をもぎとるものであるから、種藷の一部が苗に附いたまゝであるため活着はよい。その代り種藷が溫湯消毒してあればよいが、してなかつたり、或ひは床地に黑斑病菌があるときには傳染しやすい缺點がある。切苗は活着はよくないが、黑斑病の傳染するおそれは少ない

また苗にしても、やはり溫湯消毒した方がよい。種藷のときと同じく、攝氏四十八度の湯に、苗の根元から二寸位までのところを十五分つける。それ以上先をつけては苗がいたむ

また切斷苗といつて、種藷の苗を長く伸ばして二、三箇所で切るものもあるが、一番先の苗は巢も角、その間の苗は腋芽が出ないと役にたたないから、短へた方がよい

苗の植ゑ方は苗の大小によつて異なる。苗が一尺以上あつて十節位あるときには水平植、或ひは船底植、八—六寸位のときは斜植がよく、釣針植などを行ふところもある。また土地の溫度が高いところでは水平植、船底植がよく、乾燥する土地では斜植、釣針植にする。つまり畠が濕つてゐるときは淺く、乾いてゐるときは深くすると根付きもよい、深さは一寸から二寸位が適當で、植付けたら土をそつとかけ、五匁をまく

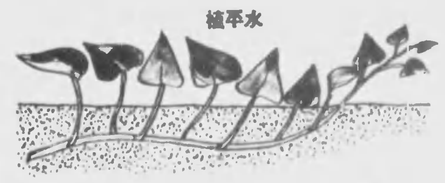
畦の高さは、溫度の低いところ、水はけの惡いところ、重い土のところでは高畦にすれば、土の溫度が高くなり、通風もよく土も軟かくなつてよい。砂地で排水のよいところでは低くする。普通には畦の高さ一尺から二尺五寸、畦幅は二尺から三尺がよく、また一段歩に植付ける苗は、大きな苗（約一尺五寸位のもの）で二千本、中位（約一尺位のもの）の苗なら四千本、小さい苗（約八寸位のもの）なら五千本がよい。しかし苗には大小があるから、その中から一尺五寸ぐらゐ、一尺ぐらゐとそれ〴〵大小の長さをそろへ、一尺五寸ものばかりを先づ植ゑ、次ぎには一尺（八匁）の苗といふふうに順に植ゑる方がよい

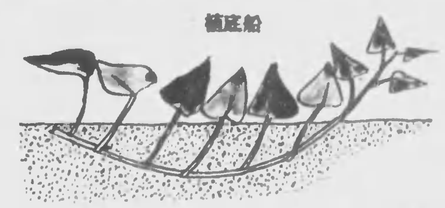
▲

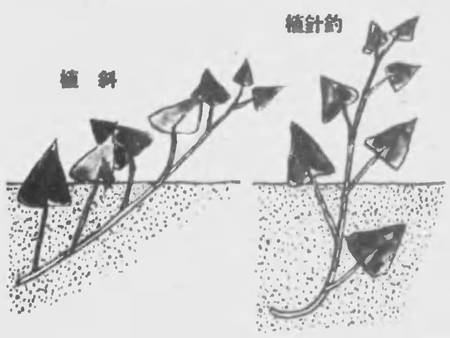
植付けの適期は關東地方から九州までだいたい五月中旬から下旬が最もよく、溫度は攝氏十九度位になるときで、大麥が成熟する十日前とみてよい。このころは天候が疑りやすくて植傷をうけることが多い。植ゑつける日は、雨のふりさうな日の前がよい。一番望ましいのは日がくれてから植ゑ、その夜雨がふるのがよい。しかしこれは天氣次第なのでむつかしいことだが、とにかく日中に植付けることは絶へる

畠がカン〳〵照つてゐて、畠がかはきすぎてゐるときは、取置苗といつて、溫度の高く溫度の低い納屋などに苗をしまつておくが、これは束の繩はゆるめ、立てておく。天氣が下り坂になつてから植付けるのだが、取置きも五日以上たつとよくない。そのときは雨が降らなくても植付け、十分に水をやる

植ゑつけてから一週間して、活着が惡いときには、補植（しつかりと植ゑかへすこと）する







藷は箱作りでも立派に作れます

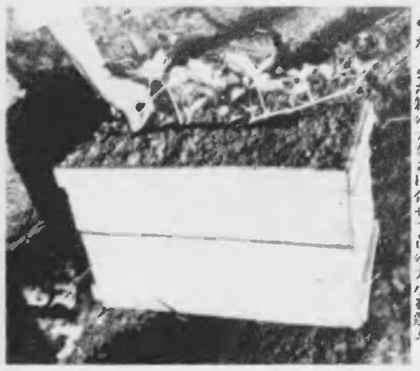
『苗を買つたけれど、土地が足りないのでね』といふのは工夫が足りません

家のたてとんだ都市では、藷にとつて大切な排水のよいことと風通しのよいことが望めないので、物干などで行ふ箱作りが案外に效果をあげた例をお知らせしませう

箱作りに使ふ箱はなるべく大きいのがよく、石油箱ぐらゐのものが素人むきです。との中に入る土は蜜柑箱の大きさで約五升しか入りません。何分こんな僅かの土で藷を育てるのですから、有機質が三分の一位入つた堆肥土のやうなもの、つまり塵埃や濃土などのためておいたものをできるだけ多く入れます。また箱がなければ、桶でも俵でも籠でも土を入れられるものならよく、ただ甕などだつたら、下に穴をあけて乾燥しやすくします

植付けは、一尺二、三寸の苗一本を芽の方四—五寸出して水平に植ゑます。必ず一箱に苗は一本とし、二本も三本も慾ばつてはなりません。箱の大きさに合せて苗も大きいのをえらびます。大きな箱に小さい苗を植ゑたのでは、成績がよくありません

農作物は天候に左右されますが、箱作りだと、雨が多ければ餘分は流れ出しますし、旱でりの時は水をやればよいし、肥料にしても分けてやることができ、肥料が多すぎたら乾燥させれば、抑制できます。盆栽ほどに可愛がつて手入れしてやれば滿點です。盆栽より面白く、十分肥料をやれば、石油箱や林檎箱の大きさなら一貫匁、鰹節や煙草の箱で二貫匁から三貫匁の藷ができたといふのですから、箱作りも馬鹿になりません



⇦箱作りのときには苗を適期に植ゑるのが大切だ。また箱の大きさに合せて苗の大小を選ぶ

⇦夏になれば棚作り、懸屋などができるし、盆栽よりも樂しくてしかも藷ができる

⇦この例では適期におくれて植付けたものの、一度九十日目に蜜柑箱に藷が十一個、三百匁とれた。大きな藷が箱の中で曲つてゐた

『みなさん、カボチャと女學生ではお目玉を食はせう』と、カボチャの大增産をめざす東京都では毎日女學生の宣傳挺身隊が肥料や鍬を角に立つて道ゆく人に呼びかけました。夏になつたら東京中がカボチャだらけになるほどの意氣込みでした

東京都　久田　茂

⇦丘にも土壌改良の[illegible]てきました。麓を育てるにはとの青草で十分の[illegible]この繁殖期ですから、田舎のコイコも都會のヨイコ[illegible]、みんなで伺ひませう

長野縣　幅　忠次

週間點描

故吉賀參一元帥の海軍葬は五月十二日東京築地本願寺に厳修、一年に滿たずして再び艦合艦隊司令長官を喪ふ悲一億が隣腸の悲しみはとのとき期せずして求敵必滅の怒りと燃えあがる

×

信陽附近より北上中のわが中支部隊、南下中のわが北支部隊と確山に相會し、久しく敵中にあつた京漢線とも相通ず。征旅遥子里、鎗の勇士が交す握手にこめた感激さもいかばかり

×

陸軍では、このたび特別甲種幹部候補生制度を設け、これにより豫備役初級將校の中堅となるべき者の資質を向上、急速多量にこれを補充すると共に學徒の希ひを充たすことになる

×

一億の生活つめにつめて積みあげた十八年度國民貯蓄の戰果發表、二百七十億の目標額を越えること三十九億である。この意氣で今年また積まんかな三百と六十億

×

國民總動員運動中央總合は十四日東京日比谷に開催、東條總理は官民協和、戰友愛に結ぶ總動員を强調、滿堂の聽衆はもとより全一億は決意を新たに仇敵必滅を誓ふ

×

工場に戰ふ學徒が心に懸ることは上級學校への入試であつたが、この惱みを一掃するため、大學高等專門學校でも內申制を採用することとなる。學徒よ、專心增産に勵まれよ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

可愛ゴム チトロイラ

飛行機は鳥やとんぼのまねをして、ものすごく速く飛ぶ。トロイラの力は、と聞かれたら、それはそれはたいしたものだ。今までトロイラに負い飛行機をとばせる力があるのか、と聞かれる人は少いでせう。

もともと、トロイラだけで飛行機がとばせるわけはありません。トロイラには飛行機を動かす力がありますが、飛行機が動き出すと、後に空気の流れが生じます。翼には飛行機を後に押しかけて、この揚力で飛び、また、トロイラの引張る力の方がふしぎとより強いので、飛行機は前へ進むのです。

さて、トロイラは、はたらんもんで、ゴムは、ねじりもされてゴムもおちこむことのないように、トロイラは、強く、強んで、ゆきます。

第二圖

（第二圖）。この二圖のように、ねじりもされる。

ゴムは、ねじれ、ゴムとゴムとの間に、ゴムが、ゴムの中では、長く、ゴムの上、ゴムの、ゴムの、ゴムの

五月二十七日海軍

寫眞週報
（禁無斷轉載）
昭和十一年二月十二日第三種郵便物認可
昭和十九年五月廿四日發行
毎週一回水曜日發行第二百廿二號
定價一部十錢（送料二錢）
編輯者 東京都豐島區永田町一丁目 情報局
印刷者 東京都豐島區入江町 印刷局
發行者 印刷局
申込所 全國各地官報・週報普及部・書店・驛賣店・新聞販賣店
海軍機關の報道機關は海軍省承認濟第五四一號です

本誌を編輯し新聞や掲示板に
回覽や前線慰問にも

本誌を讀まれた後は、國防の一部として、回覽するばかりでなく、表紙や見開きの寫眞を、職場の掲示板や、壁新聞として、また前線慰問にも、ご利用して戴けます。「寫眞週報」は、戰時版の、新しい、ご、にあります。ご、送ってあげて下さい。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/